

令和5年度 「第2回上士幌町、みんなでチャレンジ！ノースクリーンデー」

第2回ノースクリーンデー結果報告書

実施日：令和5年 6月1日(木)

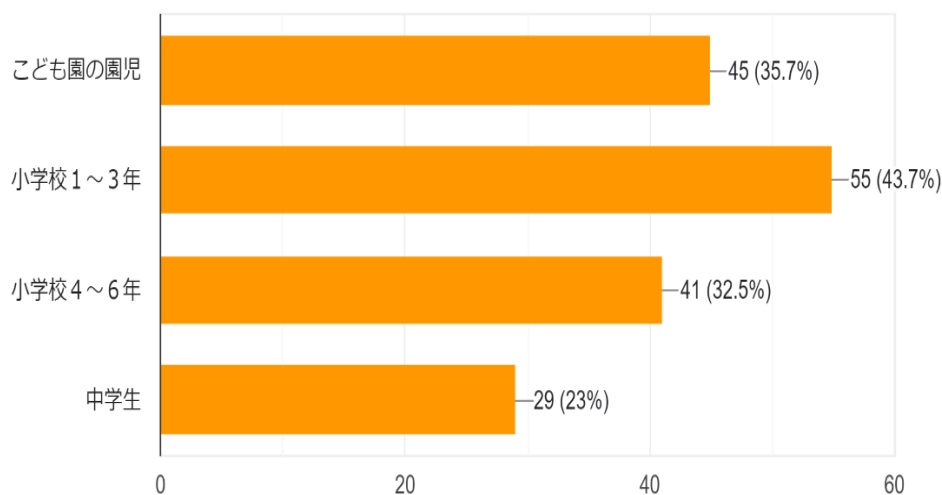
対象者：小学校・中学校・こども園の保護者

回答数：126件

第2回ノースクリーンデーアンケートの結果から (126件の回答)

あなたのお子さんの学年を教えてください。(当てはまるものすべてに回答)

126件の回答



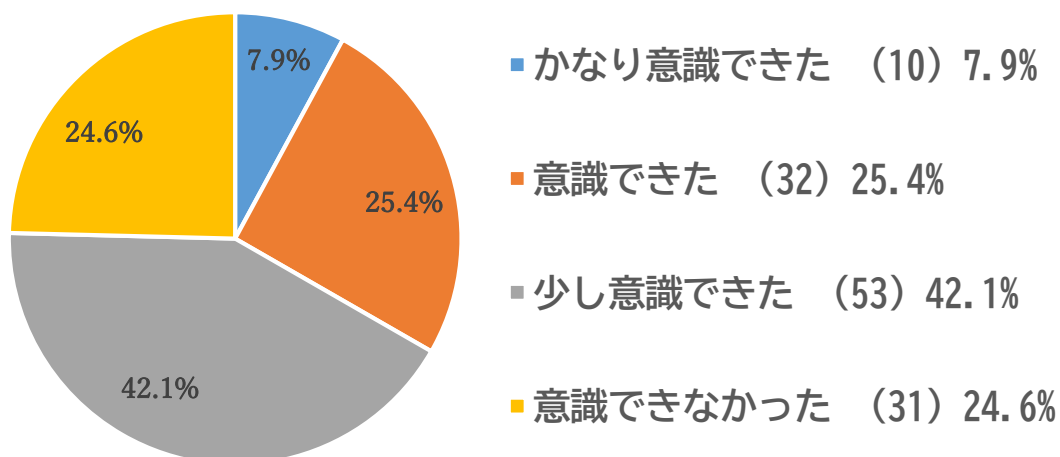
126件(170人)の回収ができた。※第1回ノースクリーンデー(令和4年度11月1日実施)アンケートの集計数は142件だった。

今回は昨年と集計方法が異なりQRコードによる集計から、マチコミメールとコードモンで保護者あてにアンケートのURLを送信することで集計した。昨年と集計方法は異なるが、ほぼ同様の数を回収することができた。

回答件数

| R4 | R5 | R5 | R5 |
|----------|---------|----------|---------|
| 11月(第1回) | 6月(第2回) | 11月(第3回) | 2月(第4回) |
| 142件 | 126件 | | |

ノースクリーンデーを意識して過ごすことができましたか。

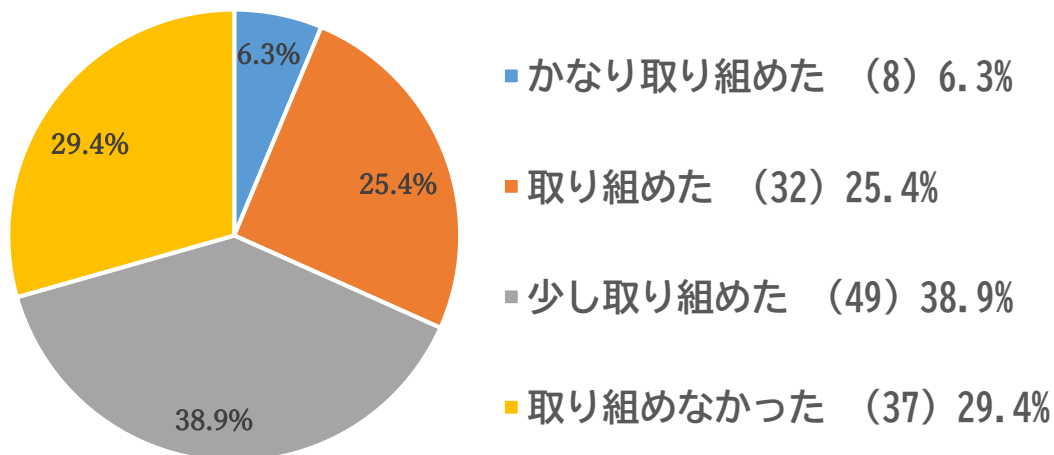


ノースクリーンデーについて33.3%が意識できた。少し意識できた数も含めると75.4%と昨年は78.2%に比べ、2.8ポイント減少したが8割近い家庭で意識して過ごすことができた。今回もチラシや各学校からのお知らせなどの周知が十分であり、ノースクリーンデーの意義や目的を理解してもらえたと考える。

少しでも意識できた (%)

| R4 | R5 | R5 | R5 |
|----------|---------|----------|---------|
| 11月(第1回) | 6月(第2回) | 11月(第3回) | 2月(第4回) |
| 78.2% | 75.4% | | |

ノースクリーンデーの取組を行うことができましたか。

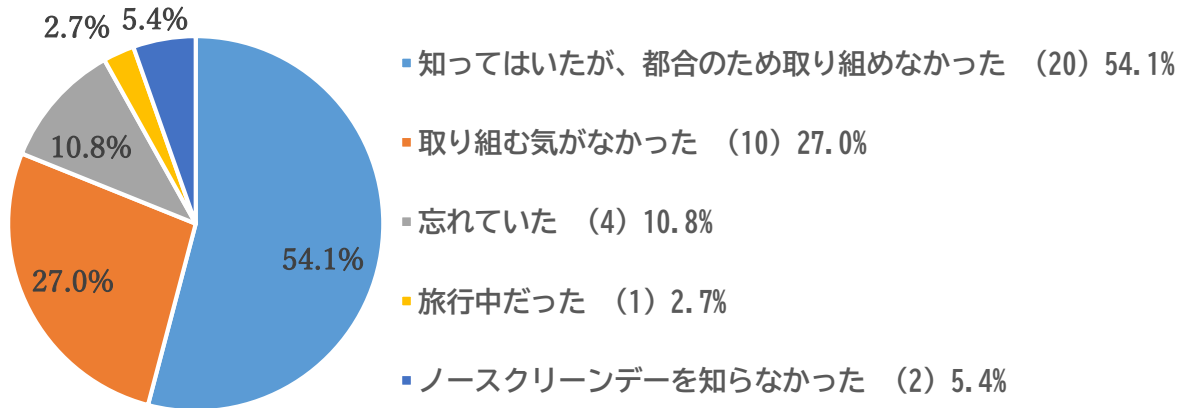


ノースクリーンデーの取組を行うことができたかについては、「意識して過ごすことができたか」とほぼ同様の結果となった。31.7%の家庭が取り組めたと回答し、「少し取り組めた」の回答も含めると70.6%の家庭が取り組んでいたことがわかる。「取り組めた」と回答した家庭からは「子どもたちと話す機会が増えた」「実施日を増やしてほしい」などのポジティブな意見が見られた。しかし、「取り組めなかった」と回答した家庭からは「まず大人が実践できない」「タブレット学習をしているから取り組めない」という意見が見られた。

少しでも取り組むことができた (%)

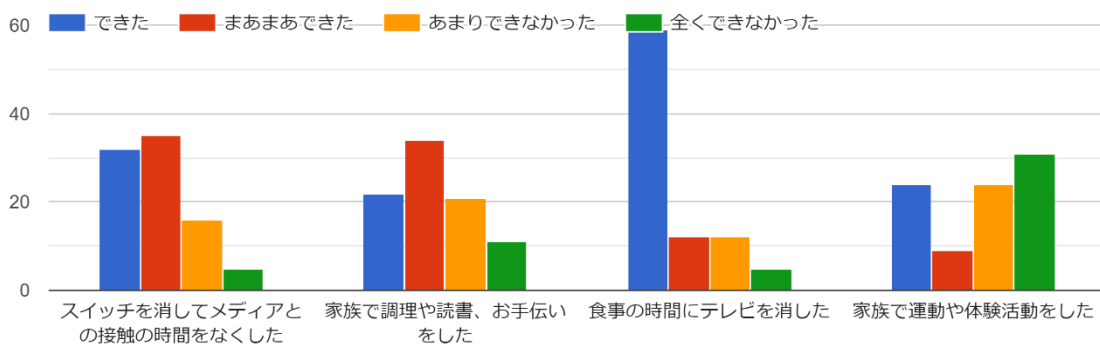
| R4 | R5 | R5 | R5 |
|-----------|----------|-----------|----------|
| 11月 (第1回) | 6月 (第2回) | 11月 (第3回) | 2月 (第4回) |
| 73.3% | 70.6% | | |

取り組めなかった理由について



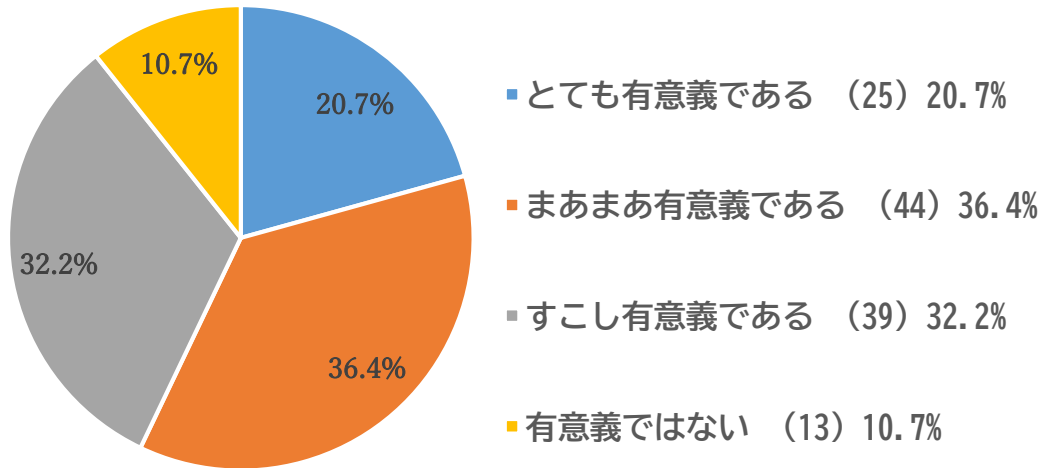
「取り組めなかった」と回答した方々（37件）の取り組めなかった理由については「知ってはいたが、都合のため取り組めなかった」が37件のうち20件（54.1%）と最も多かった。次に、「取り組む気がなかった」が10件（27%）で多かった。「ノースクリーンデーを知らなかった」については昨年と同数で2件（5.4%）だった。

どのような取り組みをしましたか。



「かなり取り組めた」「取り組めた」「少し取り組めた」と回答した方々（89件）に、伺った具体的な取り組みについては、昨年度とほぼ同様の結果になった。「食事の時間にテレビを消した」に取り組めた家庭が59件と非常に多く、「少し取り組めた」と回答した家庭でもテレビを消す取り組みはできたという回答が多かった。「家族で運動や体験活動をした」については「あまりできなかった」「できなかった」の回答が55件と約7割の家庭が取り組めなかったと回答した。

ノースクリーンデーは有意義でしたか。



有意義の回答が89.3%と非常に多く、昨年の85.9%から3.4ポイント上昇しておりノースクリーンデーの意義や目的が理解されていることが改めてわかる結果となった。有意義ではないという回答は10.7%となった。理由としては「子どもがメディアに接している時間を管理することが難しい」「ノースクリーンデーと一緒にワークショップやレクリエーションがあればいいのに」などの意見が寄せられた。

| R4 | R5 | R5 | R5 |
|----------|---------|----------|---------|
| 11月（第1回） | 6月（第2回） | 11月（第3回） | 2月（第4回） |
| 85.9% | 89.3% | | |

ノースクリーンデーについてご感想ご要望をお聞かせください。(24件の回答)

ノースクリーンデーに肯定的な感想

1. 家族会議をして、皆で振替休日の予定を考え楽しかったです。
2. とてもよい取り組みだと思うので、我が家では普段も週何日か、取り組みたいと思います。
3. 忙しい毎日の中で難しい部分もありますが、意識するのとしらないのでは、大きな差があると思うので、ノースクリーンデーが設けられることは良いことだと思います
4. 子どもが自分から意識して取り組んでくれたので、もっと回数を増やして実施しても良いのかと思う。
5. 町をあげて取り組んでくれるおかげで、親が言わなくても子供自ら進んでやってくれるので有難い。
6. 子供がノースクリーンをととても意識していて「僕が学校に行っているあいだ、大人もパソコンしないでね!」と言って登校しました。月イチでも実施してほしいです。
7. 子供からたくさん話しかけてくれたり、お手伝いや工作や読書や兄弟同士で遊ぶなど有意義な時間を過ごせたりして良かった。また頻繁に行われても良いと思う
8. 5歳の子は、説明をしたら何も問題なく過ごせた。2歳の弟も、お姉ちゃんと一緒に遊ぶのが好きなので、お姉ちゃんがテレビを見なければ、つられて他のことをして遊んでいた。なので、うちの場合は、親の態度次第だとわかった。
9. ノースクリーンデーをきっかけに電子機器から離れる生活を増やして欲しいので、回数を増やしてほしい。「今日はノースクリーンデーだから」という理由を作りたい。
10. お友達とキャンプなどに参加出来ると、楽しく過ごせると思う。
11. ノースクリーンデーをお知らせして頂けると中々自らは意識できないので助かります。
12. 子供達は、しっかり取り組んでいたと思います。保護者、自分自身を含めて取り組みが足りなかったと思います。徹底力が不足。例えば、携帯、ゲーム、テレビ以外に夢中になれる物を親が導くなど。ノースクリーンデーをもっと強く重く受け止めなければならないと、反省しております。
13. 保育園児は少しでもテレビを見せる時間をもたないと親が何も出来なくなってしまう、少しテレビを見せました。小学生は「今日はノースクリーンデーだから〜!」と言って友達と遊ぶ約束をして出掛けました。7時近くなりやっと帰ってきました(汗)
14. 日にち限定だから取り組みやすいのか、期間を設けてその中の方がやりやすいのか…自問自答しています。

ノースクリーンデーに否定的な感想

15. 大人が携帯を触らずにいられないのに子供にやろうと言えない取組みだと感じました。日々の生活でテレビやインターネット聴取時間や内容など、見守りが出来る環境なのでこのままで上手に関わる事を意識して過ごしたいと考えています。
16. 「学校P Cの持ち帰りを最小限にする」「学校P Cを強制的にノースクリーンデーは使用できないように設定する」など、家庭よりも先に取り組んで頂きたい。そのような取り組みがないのに、家庭だけでは中学生となっては到底無理。
17. タブレットで学習するなど、なかなかノースクリーンデーは実行できません。
18. 定期テストが近く、塾でiPadを使った宿題もでているため、本人は宿題をしていいのかなかなり迷っていた。生活の中で、スマホやタブレットなど、どうしても使用しないとイケないときもあるので、完全に使用しないのは、正直難しいかなと思いました。
19. 平日仕事、家事をしているなかで、子供の動きを四六時中監視してどれだけテレビやゲームをしているのか把握は難しい。用紙がごちゃごちゃしていて、子供が自分で記入しやすいように、もっと簡単な見た目の用紙にしてくれないと、子供もやる気が出ないし、一週間監視しなくてはいけない親の負担が大きい。
20. 生活しているとスマホを見ない、ということがまず不可能なので、なにか親子で楽しめるワークショップやレクリエーションがあればいいのにと思いました。
21. 週末に設定してほしい。

普段と変わらなかったという感想

22. 最近、なるべくテレビは見る番組以外は電源を消して以前から就寝時刻は遅くても、9時30には寝ていて夜間の見たい番組などは録画して翌日や週末の休みに見るなど、臨機応変に対応しながら生活しています。子供には、ゲームなどしていたら一度いつになったら「時間」やめるのか宿題などやる事をいつするのかを確認しながら話し合いで決めています。私自身も気をつけてはいますが、スマホの使用時間など色々と考えさせられる良いきっかけになっています。
23. 普段からテレビは、なるべく見る番組の時だけ電源を入れるようにしたり、夜遅い時間帯の番組は、ダビングして後で見ないようにしたりしていますが、自分自身もスマホなどは、意識しないとつい見ってしまうので子供にたいしても、あまり良くないことだと思いました。時間を気にするように少しずつ改善していきたいと思うきっかけになりました。
24. 100%の取組は難しいが、意識し取組むことができた。日常でも、会話を大切にしたり、家族で身体を動かしたりすることを意識しているため、普段と変わらなかった。